



※アンケートに寄せられた声は組合HPをご覧ください。

子どもが輝き、教職員が健康で働きやすい学校を！

学校づくりアンケートに寄せられた声から

尾北教労が行った「子どもが輝く学校づくりアンケート」へのご協力ありがとうございました。アンケート結果は、現状の課題解決に向け、市町教育委員会への要請や校長会での懇談会に活用させていただきます。アンケートに寄せられた声の一部を紹介します。各課題についてさまざまな角度から考え合いたいと思います。

コロナ禍

夏休み後の状況や対応

- ◎小学生は低学年になればなるほど、友だちや教師との距離が近くなる。安心感を求めてそうなる面もあり、距離を離させることが大変だった。
- ◎コロナで長い休みの後、子どもたちは全く違う姿をしていました。特に支援学級では、人格が変わるほどの子どももいました。
- ◎「コロナだから」という理由で、子どもたちが多くのことをあきらめがちになってしまわないかが心配です。
- ◎コロナ禍の児童の、今までとは違った不安や悩み、両親との関係性の変化から生じる悩みなどへ対応できるか。
- ◎もともと不登校傾向の児童が、コロナ感染を理由にして、簡単に学校を休むことが増えてしまった。
- ◎給食中に話さないなど、子どもの自由

- や楽しみを奪う形になってしまい、心苦しい。命を守るためと分かっているが…。
- ◎早いときには、7時50分すぎに子どもが登校してくることもあるので、健康観察のために、毎日7時50分から子ども対応が始まる。コロナ前と比べると、朝がけっこう忙しくなった。
- ◎マスクをずらしていたり、していない子どもたちに、その都度、言わなければならぬ。特に感染者が多かった時、密になることが多く、人との距離や共有する物を触る時の配慮に気がつかなかった。
- ◎マスクをしないという考えの家庭と、してほしい家庭とがあり、苦慮している。
- ◎緊急事態宣言が出されると、図書館が閉館になり、宣言明け後も含め、生徒の図書館離れが心配。本などの消費は、どこまでやればよいのか分からない。
- ◎ペア活動や話し合い、接触をともなう体系的な活動などで常に制限があり、ストレスになっている。
- ◎グループ学習がしたい時、できなかつた。

一人一台タブレット

(家庭への持ち帰り)

- ◎情報モラルについて子どもも保護者も十分に理解した上で持ち帰らないといけない。
- ◎家庭のそれぞれの状況があるから、無理に進めるべきではない。
- ◎低学年の子にとっては、持ち帰ったり持ってきたりするのは重くて大変。
- ◎児童の端末操作を見ていて、個々でも大きな差があることが分かり、家庭へ持ち帰った際、皆が同じように使えないと思う。
- ◎休み時間の使用などで、YouTubeで動画や漫画を見ている児童を見かける。家庭で使用する際でも、使用時間などの影響について不安がある。
- ◎SNSでのいじめにつながる心配。
- ◎家へ持ち帰った課題は、他の人の手によって行われる場合もあるので、総合などの観察等、限られるものでよいと思う。日々の宿題は今まで通りでよい。
- ◎タブレットを使うことが目的化しつつある。緊急時のオンライン授業は別として、あくまで学習の補助具であると思う。高校、大学などを経て、基礎基本が定着した上での使用が本来の姿ではないか。
- ◎学習面や、課題提出など、生徒の学習にも、業務の効率化にも有効であると感ずる。
- ◎持ち帰りたい児童は、毎日学校に持ってくることを条件にして、持ち帰らせたいと思う。
- ◎「便利」「これからの時代に必要」という言葉に流されず、「必要な場面で限定的に使用」するよう工夫すべき。
- ◎スマホに依存してしまう大人も多いのに、学校で一律に持ち帰らせるのは、歓迎しない家庭もある。そういった観点からも、家庭へ持ち帰らせず、学校の授業時間、必要な場面で限定的に使用するべきだ。
- (リモート授業)
 - ◎必要があれば進めた方がよい。しかし、必要がないのにわざわざオンラインでしなくてよいと思う。学校に集まって授業することのよさが軽視されている。
 - ◎学校での学びは、友だちと同じ場で、雰囲気や共有しながら、話し合い、考え合いながら行うべき。大学のような講義型なら、リモート授業で代替しても差は少ないかも知れないが、子どもにはリモート授業は適さない。
 - ◎家庭に学校の役割を持ち込ませるべきではない。子どもにとって家庭が安心できる場であってほしい。
 - ◎リモート授業は、逆に学びを止めることに繋がると思う。
 - ◎不登校気味の子が学校入足を運ばなくなる恐れがある。
 - ◎やむを得ない事情の場合は活用すべきだと思うが、指導に対する保護者の監視が強まり、やり辛さも感じる。
 - ◎全員リモートなら仕方がないが、対面授業をしながら一部の子にリモートを行うのは難しい。
 - ◎休校になった場合などリモート授業ができるように整えておくこと便利ではあると思う。授業は受けたいが学校へ行けない場合の不登校の子どもたちへの授業参加に利用できるかよい。
 - ◎夏休み後に、犬山市は先にオンライン学習ありきで現場は大混乱しました。
 - ◎オンラインは積極的に行ってもよいと思うが、そのためのサポート要員を求

めることができる体制が整ってから進めてほしい。先生方への負担が大きすぎた。

◎リモート授業は今まで培った授業スキルとは別のスキルが必要になる。その対応が、現場の先生方の不安や負担になる。

◎特別支援学級で、児童の状況を把握しながら、きめ細かく学習を進めることは少し難しいと感じる。

◎リモート授業は低学年では無理。常時保護者が助けられる必要がある。リモートで子どもは集中できるだろうか。教師は、リモートでは個別の支援はできない。

(その他)

◎教師1人1台タブレットがほしいです。

◎タブレットが配布されたが、実際には、通常の授業の方が手応えがあり、タブレットを使う必要性は感じられない。

◎支援学級や低学年では、具体的な操作・手指を使う活動が大切だと感じる。
◎タブレットにより、簡単にできるようなったこともあるが、実際に「書く」「読む」は減った。

◎タブレットは便利かもしれないが、自分で本物に触れて感じたり、本や実物から調べたりする学習の方が大事ではないかと思う。

◎タブレットを使わなくても、あるいは使わない方がよいならば、無理に導入する必要はないと思う。

◎最近、タブレット端末依存による視力低下やチック症状が多数報告されており、学習効果以上の悪影響が心配される。

◎ICT支援員の充実をお願いしたい！支援の時間を増やしてほしい。

◎研修の機会を増やしてほしい。

◎市内でも有料アプリで有能なものが導入できないか。

◎これからの時代、ICTは切っても切れないものである。授業で取り入れているが、とても便利だと感じる。

◎まだまだ有意義な活用方法を模索している状況。または、教員の技量が追いついていない感じがする。

◎文科大臣はタブレットが鉛筆やノートと並ぶ学習用具になると言ったそうだが、今後、鉛筆やノートのように家庭の購入負担になってはいけない。

◎タブレット学習の具体的な活用法は現場任せで、新たな教材作りやタブレットの使い方指導などで多くの時間がとられてしまう。

小学校高学年での教科担任制

◎教科担任制は、専科教員を増やす方向でないと、担任どうして教科を入れ替えるしかない。それだと教員の持ちコマ数は減らない。文科省が教科担任制の目的としている「授業のコマ数を減らす」にならない。

◎担当教科は、文科省が優先とする算数、理科、英語、体育に縛られず、各学校で決めるべき。音楽、図工、家庭科、英語などは専科教員がよい。

◎国語・算数は、やはり担任がもつべきだと思う。基本的なこの2教科は担任が持たないと、学力の把握や授業づくりに影響が出る。

◎行事等で時間割を入れ替えることがよくある。小学校で教科担任制にすることが非常にやりづらいを感じる。

◎学級数の少ない学校での教科担任制はかえって負担が大きいです。

◎小学校は担任が学級をみることに良さがあると思うので、導入は慎重にしたいと考えます。

◎学力差がある中で、教科担任制を取り入れると、全員をみることがどこまでできるか心配である。

◎教科担任制の方が、子どもは専門的な教育が受けられてよい。

◎教科担任制は、悪いとは思わないが、きめ細かい指導や支援のためには、PTの活用が必要。

◎高学年の教科担任制は「中1ギャップへの対応」「教員の準備の負担軽減」など有意義なことが多いと思う。ぜひ進めてほしい。

◎教科担任制は「みんなで子どもを見る」につながり、担任が一人で抱え込むことも減ると思う。

多忙化解消と勤務の実状

(多忙化解消)

◎コロナ禍で、行事の見直しなどが進められました。コロナ後の学校運営を無条件で元に戻すのではなく、多忙化解消の観点で、もう一度しっかり議論したい。

◎それほど多忙化が大きく解消されているわけではなく、コロナのことで負担が増えているのに、あまり残業しないようにと言われても、それがかえってストレスを感じる。必要ないなら残業はしていない。

◎多忙化解消は、管理職が動かないと全く進んでいかない。

◎部活動をはじめ、生徒指導など日本の教員はあまりにも教育以外のことで力を消耗し、疲れ切っています。

◎出張が多い。もう少し圧縮や精選を図ってほしい。できないなら人的補充をお願いしたい。

◎仕事の偏りを無視しては、根本的な改善にはなりません。

◎部活動負担を軽減するため、教育委員会が積極的に「教師は勤務時間外に半ばボランティアで行っている」とアナウンスし、保護者の「部活動やって当たり前」という認識を変えていく必要がある。

◎今年度のような簡素化された学校訪問の形式が、これからも続いてほしい。

(勤務時間・割り振り・休憩・その他)
◎もっと学級の子とも向き合う時間がほしい。

◎定時退校等、学校での勤務時間を減らす取り組みは、仕事量が減らなければ変わらない。

◎勤務の割り振りは、使える日時を、使いやすい期日に振り替えられるようにしてほしい。せめて夏休みなどでまとめてくれるようにしてほしい。

◎校長先生に言わないと、割り振りについての指示がされない。

◎在校時間を正確に記録することが職場で徹底されていない。

◎目の離せない子をもつ担任は、全く気を許せず、トイレの時間もとれない教員も多い。介助員でもよいので複数配置をお願いしたい。

◎休憩時間は全く無い。空きコマもない。書類作成の残業で身体を壊した。

◎パワハラ的な発言は先生方の中にも多いように思います。

◎免許更新がなくなりよかった。そのかわりの研修は自由にとらしてほしい。